

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公表番号】特表2004-529087(P2004-529087A)

【公表日】平成16年9月24日(2004.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-037

【出願番号】特願2002-559520(P2002-559520)

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 21/18

C 0 7 C 17/383

// H 0 1 L 21/308

【F I】

C 0 7 C 21/18

C 0 7 C 17/383

H 0 1 L 21/308 B

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月25日(2003.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

本質的に1,2-ジクロロ-3,3-トリフルオロプロペン及びフッ化水素からなる共沸組成物。

【請求項2】

本質的にフッ化水素約1～約90重量パーセント及び1,2-ジクロロ-3,3-トリフルオロプロペン約10～約99重量パーセントからなり、約160kPa(23psia)～約580kPa(84psia)の圧力で約26～約68の沸点を有する、共沸又は共沸様組成物。

【請求項3】

フッ化水素が約10～約80重量パーセントの量で存在する、請求項2記載の組成物。

【請求項4】

フッ化水素が約40～約60重量パーセントの量で存在する、請求項2記載の組成物。

【請求項5】

共沸又は共沸様組成物を形成する方法であって、該方法が本質的にフッ化水素約1～約90重量パーセント及び1,2-ジクロロ-3,3-トリフルオロプロペン約10～約99重量パーセントをブレンドすることからなり、該組成物が約160kPa(23psia)～約580kPa(84psia)の圧力で約26～約68の沸点を有する方法。

【請求項6】

1,2-ジクロロ-3,3-トリフルオロプロペン及び少なくとも1種の不純物の混合物から1,2-ジクロロ-3,3-トリフルオロプロペンを取り出すための方法であって、フッ化水素を該1,2-ジクロロ-3,3-トリフルオロプロペン及び該フッ化水素の共沸又は共沸様組成物を形成するのに充分な量で該混合物に添加し、その後、該共沸組成物を該不純物から分離することを含んでなる方法。

【請求項7】

不純物が含ハロゲン炭素化合物を含んでなる、請求項6記載の方法。

【請求項 8】

不純物が 1 , 1 , 1 , 3 , 3 - ペンタクロロプロパンである、請求項 6 記載の方法。

【請求項 9】

分離が蒸留により行われる、請求項 6 記載の方法。

【請求項 10】

共沸組成物が本質的にフッ化水素約 10 ~ 約 80 重量パーセントからなる、請求項 6 記載の方法。

【請求項 11】

共沸組成物が本質的にフッ化水素約 40 ~ 約 60 重量パーセントからなる、請求項 6 記載の方法。